

工業会活動

令和3年度航空機生産額は 前年度比1,080億円の減額

経済産業省が5月18日に公表した生産動態統計月報に基づき、令和3年度の航空機生産額（速報値）を集計した。その結果、総額は前年度比1,080億円（8.5%）減の1兆1,554億円となった。平成25年度から急増した生産額は、平成28年度に反転下落したものの、後に緩やかに増加し、令和元年度は1兆8,689億円となったが、令和3年度は令和2年度に引き続き大きく下落していることが確認された。

防需と民需の内訳は、防衛向けが前年度比83億円減の4,975億円、民間向けが997億円減の6,579億円となっている。

品目別にみると、機体の生産額は、防衛向けが機体製造の増により167億円増の3,433億円、民間向けが主力のボーイング777及び787の生産減等により昨年度実績を955億円下回る2,497億円となったため、機体全体では前年度より789億円（11.7%）減の5,930億円となった。エンジンの生産額は、防衛向けが100億円の減、民間向けが15億円の減となり、エンジン全体では前年度より115億円（2.5%）減の4,549億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛・民間向けともに減となり、その他の機器全体では前年度より176億円（14.1%）減の1,075億円となった。

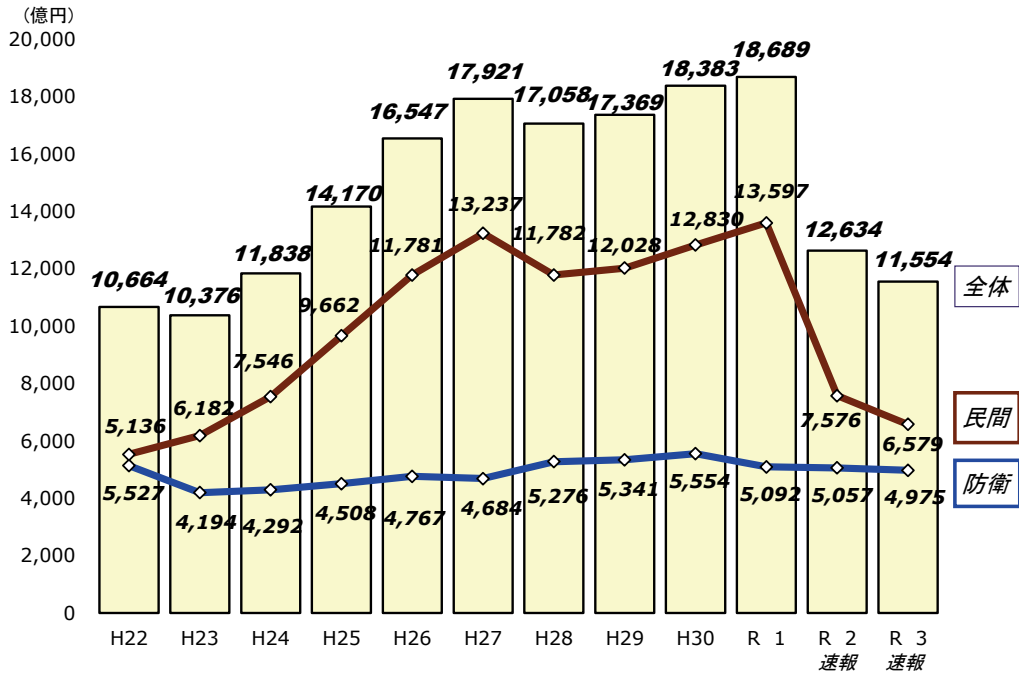
また、全体額の防需と民需の比率は43%対57%と民需の割合が前年度よりさらに減少した。平成24年度以降、民間航空機でボーイング社等からの受注増大に伴い民需比率が増大する傾向にあったが（民需比率のピークは平成27年度の74%）、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響等による航空機需

要減少に伴い、民需比率が減少する結果となった。

なお、令和3年度の品目別防需比率は、機体関連58%、エンジン関連15%、その他機器80%となっている。

上記のように令和3年度の我が国の航空機生産は、令和2年度に引き続き減少した。今後については、防衛向けではP-1固定翼哨戒機やC-2輸送機等の調達に伴う安定的な生産及び次期戦闘機の開発推進が期待される。民間向けでは、ボーイング777は新型コロナウイルスの影響による航空機需要減により減産を継続中で、ボーイング777Xは在庫の調整等のために令和5年までの生産を一時停止し初号機納入を令和7年に延期する旨が公表され、また、ボーイング787については品質の問題により昨年からの納入が停止され、本年の納入再開時期を調整中である旨が公表されている。こうした状況を踏まえると、令和4年度以降の航空機生産の動向もかなり厳しい状況が想定される。

航空機・生産額の推移（年度）



令和2年度と令和3年度の区分別比較

(億円)

区分	R02年度 速報値			R03年度 速報値			差 (R03 - R02)				
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計		
製造	機体	本体	1,187	28	1,215	1,416	23	1,439	229	△5	224
		部品	1,007	3,193	4,200	901	2,220	3,120	△106	△973	△1,080
		小計	2,194	3,221	5,415	2,317	2,243	4,560	123	△978	△855
	エンジン	本体	215	5	221	0	4	4	△215	△1	△217
		部品	424	3,611	4,034	429	3,557	3,986	6	△54	△48
		小計	639	3,616	4,255	429	3,561	3,990	△210	△55	△265
	その他機器	862	216	1,078	712	195	907	△150	△21	△171	
計	3,695	7,053	10,748	3,458	5,999	9,457	△236	△1,054	△1,291		
修理	機体	本体	710	135	845	660	145	805	△50	10	△40
		部品	363	96	459	456	109	565	93	13	106
		小計	1,073	231	1,304	1,116	254	1,370	43	23	66
	エンジン	本体	112	242	354	212	292	504	100	50	150
		部品	34	22	55	43	12	55	9	△10	△0
		小計	145	264	409	255	304	559	109	41	150
	その他機器	145	28	173	146	22	168	1	△6	△5	
計	1,363	523	1,886	1,517	580	2,097	154	57	211		
全体	機体	本体	1,897	163	2,060	2,076	168	2,244	179	5	185
		部品	1,370	3,289	4,659	1,357	2,329	3,686	△13	△961	△974
		小計	3,267 (49%)	3,452 (51%)	6,719 (100%)	3,433 (58%)	2,497 (42%)	5,930 (100%)	167	△955	△789
	エンジン	本体	327	247	574	212	296	508	△115	49	△66
		部品	457	3,633	4,090	472	3,569	4,041	15	△64	△49
		小計	784 (17%)	3,880 (83%)	4,664 (100%)	684 (15%)	3,865 (85%)	4,549 (100%)	△100	△15	△115
	その他機器	1,006 (40%)	244 (20%)	1,251 (100%)	858 (80%)	217 (20%)	1,075 (100%)	△149	△27	△176	
	計	5,057 (40%)	7,576 (60%)	12,634 (100%)	4,975 (43%)	6,579 (57%)	11,554 (100%)	△83	△997	△1,080	

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない

(出典: 経済産業省 生産動態統計)